

第50回 『田起こし、水路の水抜き、ハウスのハウレンソウ撤去』

と き：2013年3月30日（土）9:30 - 16:30

ところ：な～に谷っ戸ん田

天 気：曇り かなり冷え込みました

参加者：石田、梅下+こう、久保、坂本（午前）、高田（裕）、高橋、藤田、藤平（午後）、
松下 計：大人9名+子1名 （テツさんと一緒に作業）

【午前】

●作業準備

さっそくテツさんがダンプで到着。まず、田んぼに置いてあったハウスの残骸（骨など）をダンプに積み込み、テツさん小屋のそばのユンボの脇に持っていく。

その後、テラー1台、トラクター1台（三菱製）を運転し、谷っ戸ん田へ。

●テツさん含め全員で朝礼

<加藤先生、磯さんからのご挨拶>

加藤先生、磯さんより、「今年で終わる事情の連絡と、時間があれば手伝いたい」旨話
テツさんからは「僕は畑と田んぼをするのが当然だ。別のことに変われるのはうらやましい」とのコメントあり

<テツさんからのご挨拶（骨子のみ）>

- ・「な～に谷っ戸ん田の会」は今日で終了。来年度は名前を変えて再スタート
- ・皆やりたいことは色々あると思うが、人間には感情があるので、簡単にはできない
- ・まわりの方の協力があって、この活動はできている
- ・自分のやることが違っていたら、意見もいただきながらやっていきたい
- ・とにかくケガのないように（機械や道具のそばにはいかない）

●以下の3つに分かれて作業

①田起こし（全員） テラー&トラクター各1台

「稲を植える方向に（短い距離の方）機械を動かす。あまり深くないように、くるぶしほどの深さが起こせればいい。全面に2回行えばいい」というテツさんの指示で開始。

②水路の水抜き（坂本、高橋、藤田、高田）

翌日、恩田の谷戸ファンクラブが水路の整備をする。その準備のため、水路にたまっている水を抜いた。まず、山土を用いて土嚢を5つ作り、水路をせき止めるために置く。そして、ホースで水を抜き（発電機利用）、水路奥に流した。同時に、テツさんがユンボを用い、水路の整備を行っていた。（用具：発電機、スコップ4本、水抜きホース）

③ハウスのハウレンソウの撤去（梅下+こう、坂本、松下、高田）

田んぼ横のハウスのハウレンソウをぺんぺん草とともに抜き取り、ハウスに並べる。このあとは、堆肥の一部にする予定とのこと。

【お昼】各自コンビニ等で調達。加藤先生より、「えび恋し」の差し入れあり

【午後】

午前の続き。途中、テツさんが焚き火を用意。そこでの休憩時に「恩田の谷戸ファンクラブ（藤田さん）」よりシュークリーム他と温かい飲み物の差し入れあり。田起こしは、最後にテツさんの大型トラクター（クボタ製）で仕上げ。16時30分頃作業終了。解散

（記録：高田裕司）